

平成二十四年

八月

いのち
生命の言葉

とこしへに民やすかれと

いのるなるわが世をまもれ 伊勢のおほかみ

明治天皇

裏面もご覧ください。

八月
生命の言葉

永遠に人々が安らかに暮らせるよう
にと祈りを捧げよう。伊勢の大神よ、
どうか世の中を守ってください。

『明治天皇御集』

明治天皇 (めいじてんのう)

一八五二〜一九三二年。明治二十四年、「社頭祈世」と題して歌われたもの。平成二十五年、伊勢神宮では第六十二回式年遷宮の最も重要な祭典、遷御の儀が行われる。二十一年に一度、御社殿、御神宝、御装束などが全て一新される式年遷宮は、千三百年続けられてきた日本の祈りに他ならない。

油蝉がせわしく鳴き騒ぐこの季節 皆さまに神のご加護がありますように

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮